

## みずがめ座

みずがめ座は、ペガサスのたてがみから南へと広がり、秋の1等星フォーマルハウト（みなみのうお座）まで続く比較的大きな星座です。

秋の星座は明るい星が少ないため、おとなしく感じますが、ペガサスの四辺形（秋の四辺形）やカシオペアのM字形など、意外とわかりやすい星の並びがあります。一方みずがめ座はその姿を思い描くのに、市街地では少々苦勞します。それもそのはず、一番明るい星は3つしかない3等星。大きな星座にもかかわらず暗い星ばかりです。ですから、ペガサスの四辺形やフォーマルハウトを基準に位置を探るのがいいでしょう。その中でもわかりやすい目印が一番北に位置するYの字形、通称「三ツ矢」マークです。これが瓶（かめ）の部分です。

みずがめ座はガニメデスという美しい男性（少年）を描いています。みずがめ座にはこんな物語があります。ガニメデスは、トロイアの羊飼いでした。大神ゼウスは、ガニメデスの美しさを気に入り、目をつけていました。そんなとき、オリンポスの宮殿で神々が酒宴をする際にお酒のお酌をする役目をしていたゼウスの娘、ヘーベがヘルクレスと結婚することになりました。ヘーベに代わってお酌をする役目が必要になり、ゼウスは驚の姿に化けてガニメデスをさらってきました。天上にたどり着いたガニメデスは驚がゼウスと知り大変驚きました。ガニメデスは、ゼウスに気に入られ、神々にお酒を配る役を命ぜられるのです。ガニメデスはその代わりに永遠の命と美しさを与えられました。下界にすむ両親を心配したガニメデスはそれをゼウスに伝えると、ゼウスは両親に伝令の神を送り、息子の無事とこれからについて伝えました。そして、両親が悲しまないようにとガニメデスの姿を星座にしたということです。

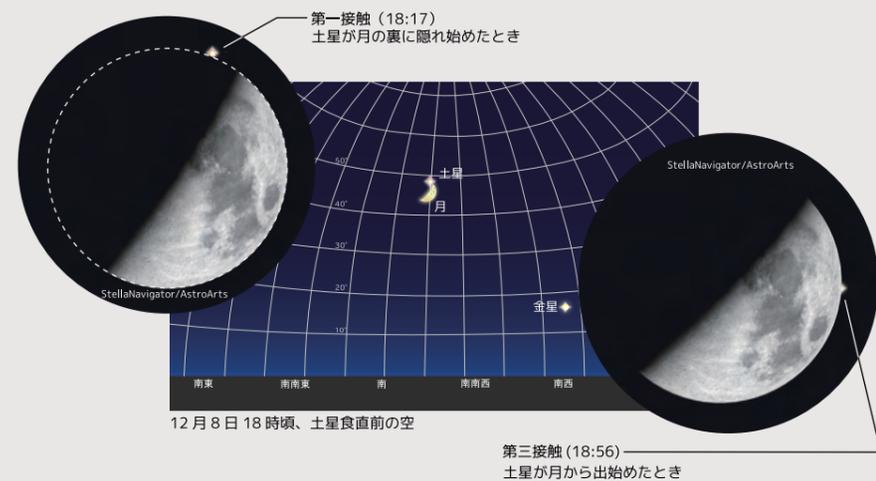
(参考図書：全天星座百科：藤井旭著：河出書房新社)

## 今月の見どころ星どころ 土星食

文・浜松市天文台  
喜澤 俊輔



ちょっと先ですが、12月上旬の天文現象について紹介させていただきます。12月8日（日）に月が土星を隠す「土星食」が見られます。日曜日の宵ですので、観望にはよいタイミングです。土星は肉眼でも見ることができる天体ですが、月の近くだと月の明るさが影響して見えにくくなりますので、望遠鏡を使った方が分かりやすいと思います。浜松市天文台では、土星食観望会を開催する予定です。スクリーンや大型モニターに映してみんなで楽しもうと思います。



## 星空クイズ

「すい、きん、ち、か、もく、ど、てん、かい」  
太陽系の惑星は、太陽から近い順にこのように並んでいます。繰り返し言って覚えた方もいらっしゃるでしょう。水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星の8つの惑星の中で、いちばん大きいのはどれでしょうか。

ヒント：今年は、おうし座の角（つの）のあたりにある明るい惑星です。

答えは中面へ

# 星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

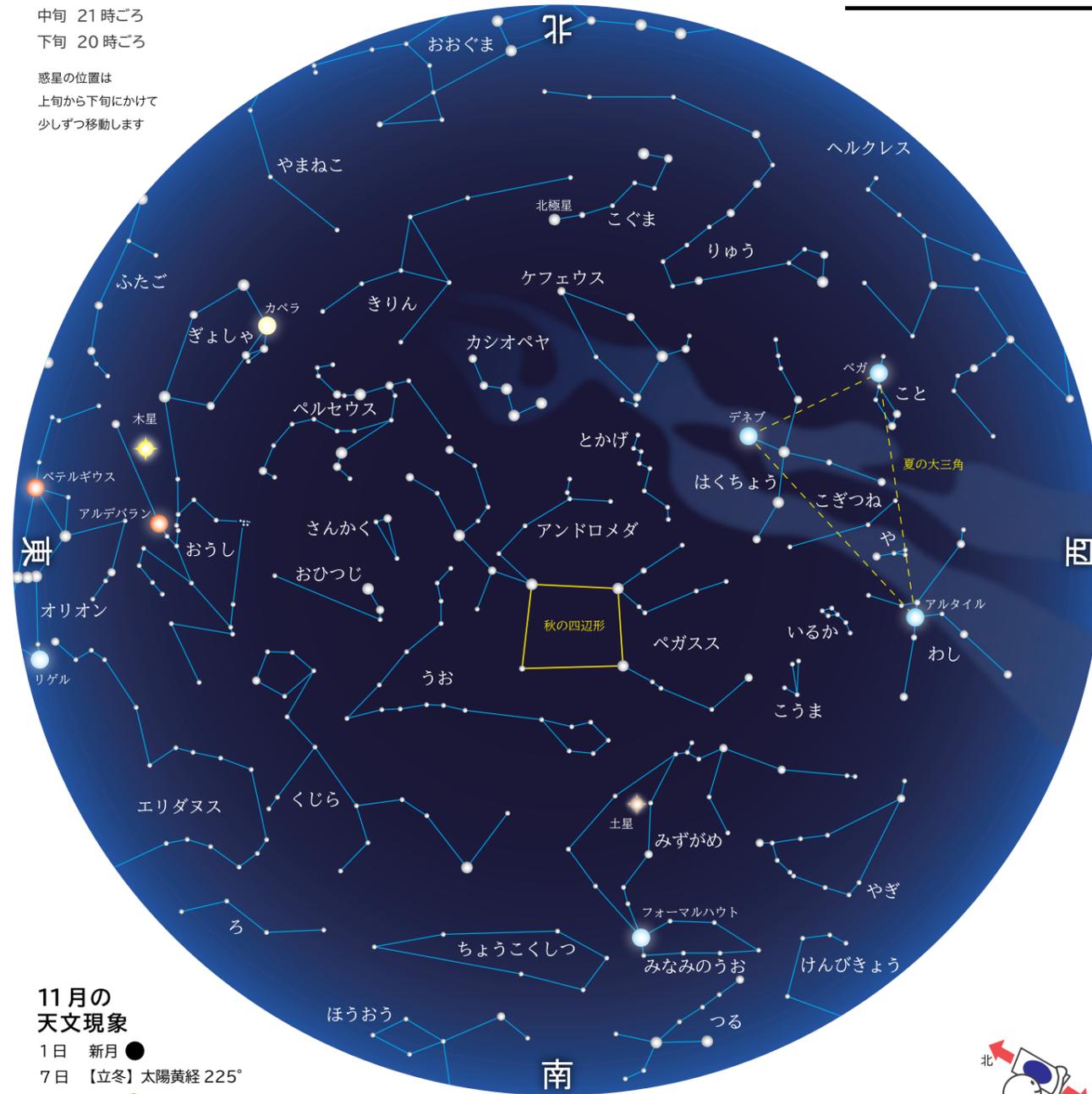
2024年11月

上旬 22時ごろ

中旬 21時ごろ

下旬 20時ごろ

惑星の位置は  
上旬から下旬にかけて  
少しずつ移動します



## 11月の天文現象

- 1日 新月 ●
- 7日 【立冬】 太陽黄経 225°
- 9日 上弦 ●
- 16日 満月 ●
- 水星が東方最大離角
- 17日 天王星が衝
- 22日 【小雪】 太陽黄経 240°
- 23日 下弦 ●

上の星図は、空にかざして  
実際の方角と合わせてご覧ください。



秋の四辺形が天頂あたりに見られるようになりました。東の空にはおうし座やぎょしゃ座といった冬の星座も見られます。季節の変化を感じますね。山の木々も色付き秋の装いです。紅葉、黄葉、常緑樹が混ざっているのもきれいです。星は表面温度の違いで色が変わります。青い星は温度が高く、赤い星は温度が低い。望遠鏡で見ると色の違いがよくわかりますよ。





# 浜松市天文台

OK 天候不良開催 NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら



## イベント情報

星空観望会、太陽・昼間の星観望会は予約優先、その他の催しは事前予約制となります。天文台ウェブサイトよりお申込みください。

11/2・9・16・30 NG

土

### 星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 18:30～20:30 会場 天文台屋上 申し込み 開催日3日前の水曜 13時から受付 (30分ごと先着20組)



11/9 **めざせ!望遠鏡マスター**

土

望遠鏡を使って天体を見てみよう!小中学生対象の簡単な取り扱い説明と実習を行います。

OK

時間 17:30～18:30  
会場 2F 講座室  
対象 小中学生  
申し込み 11/6(水) 13時から受付 (先着6人)



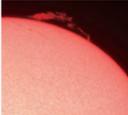
11/10 **太陽・昼間の星観望会**

日

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

NG

時間 14:00～16:00  
会場 天文台屋上  
申し込み 11/6(水) 13時から受付 (30分ごと先着20組)



11/16 **天文ミニ講座**

土

星座と当夜の見えるところについて、星のソムリエ®がやさしくお話いたします。

OK

時間 17:30～18:20  
会場 2F 講座室  
申し込み 11/13(水) 13時から受付 (先着10組)



11/17 **望遠鏡講座(一般)**

日

望遠鏡に興味あがる、購入や活用法を知りたい方のための講座と実技です。望遠鏡の持ち込み可

OK

時間 18:00～20:00  
会場 2F 講座室 / 天文台屋上  
申し込み 11/13(水) 13時から受付 (先着5組)



裏面のクイズの答え：正解は、木星（地球の約11倍の大きさです。）

## 星空を楽しむ

## 一期一会の天文現象

文・写真 浜松市天文台事業協力者の会 赤峰 恭太郎

私の中で印象に残っている天文現象があります。2022年11月8日の「皆既月食&天王星食」です。月が地球の影に完全に隠される「皆既月食」と、天王星が月に隠される「天王星食」が同時に起きるといって、とても珍しい現象でした。当時大学生だった私は、天文サークルの仲間たちと、このイベントを見守りました。赤銅色に染まった月が天王星にゆっくりと近づいていきます。天王星がフッと見えなくなった瞬間、周囲では歓声が沸きました。SNSでは多くの方が「見れた!」と投稿していました。日本中の人たちが同じ方向を見て、心を動かされている…。星空には、場所を超えて人をつなぐ力があると感じました。天体写真を見返すと、その当時のワクワク感がよみがえります。そして「あの時はこうだったよね」と語りあえることが、とても楽しいのです。さて、今年の12月8日には「土星食」が見られます。ぜひ、自分なりの楽しみ方を探してみてくださいね。



# 浜松科学館

## プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



プラネタリウム	大型映像	キッズプラネタリウム	夜の科学館 特別放映
 <p><b>月がきれいな夜に話したい 3つのこと</b> 秋はお月見の季節ですね。月にまつわる3つのご紹介をします。</p> <p>9月18日・11月29日 11:00～15:00</p>	 <p><b>すみっこぐらし ひろい宇宙とオーロラのひかり</b> 原作：サンエックス 制作：pHスタジオ 配給：D&amp;D ビックチャーズ</p>	 <p><b>きらきら☆こんやのおほしさま</b> 今夜空を見上げると、どんな星や星座が見えているかな?みんなでいっしょに星を見よう!</p> <p>土日祝、長期休暇期間のみ放映 10:30～11:05</p>	 <p><b>まちなか天体観望会 in アクト通り</b> まちなかで星を見ませんか? 月や土星が見頃です。</p>
<p>～11/28 14:30～15:25 土日祝 11:30～12:25 も放映</p>	<p>平日 / 土日祝 15:50～16:30 土日祝は 13:15～13:55 も上映</p>	<p>土日祝 10:30～11:05</p>	<p>11/8 18:00～18:40 19:00～19:40</p> <p>11/15 金 18:30～20:30</p>

## くらべてみよう!木星と土星

column

文・浜松科学館 天文チーム 岩本歩夢

11月の夜空にはいくつかの惑星が見えます。中でも目を引くのが、20時ごろ東の空で輝く木星と南の空で輝く土星です。この二つの惑星は、惑星の中でもよく似た特徴があります。それは、星のほぼ全体が水素やヘリウムでできているということです。さらにその水素やヘリウムはほとんどが気体(ガス)の状態で存在しているため、この2つの惑星は「ガス惑星」と呼ばれています。ここで、いくつかの視点からこの二つのガス惑星を比較してみましょう。

まずは見た目を比べてみましょう。木星は茶色と白のはっきりとした縞模様の特徴です。これは木星の表面を覆う雲の様子が見えたものです。木星の大気には横向きの強い風が吹いているため、この縞模様ができると考えられています。しばしば大きな目玉のような模様が見られることがあります。これは「大赤斑(だいせきはん)」と呼ばれ、風が渦を巻いてできた模様だとされています。それに対して、土星の表面の縞模様はかすんで見えます。木星と同じように土星の雲が見えたものですが、土星の雲は木星よりも厚いこと、また大気にアンモニアがわずかに含まれることが理由で、模様がぼやけていると考えられています。

次に惑星の周りに浮かぶ輪っかを比べてみましょう。土星にはくっきりとした輪っかがついています。土星の輪っかは小さな粒子が数えきれないほどずらっと並んでできています。そのほとんどが氷の粒子で、わずかに岩石の粒子も含まれます。これに対して木星の輪っかはかなり淡く、ほとんど見えません。見えませんが、存在していることがわかっています。1979年に木星に接近した宇宙探査機ボイジャー1号によって発見されました。地上からの観測は難しく、かなり大きく性能の良い望遠鏡が必要です。

似たもの同士に見えて、ちょっと違う。人間と同じように、惑星たちにも個性があるんですね。ぜひ土星と木星を見比べてみてくださいね。

